

CASBEE広島における重点項目の環境配慮設計概要

CASBEE-広島 (2010年ver.1)

(仮称)ポレスター五日市駅前

※下表の空欄に環境配慮設計の概要をコメントしてください。

配 慮 項 目	評価点	重み係数	内 訳				
■ 1. 「地球温暖化対策」の推進							
1.1 建物の熱負荷抑制							
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	3.0	0.10	Q1	室内環境	2	温熱環境	
品確法の等級4の省エネ基準、窓部は複層ガラスとカーテンを標準設置。	3.0	0.42			2.1	室温制御	
	5.0	0.48	LR1	エネルギー	1	建物の熱負荷抑制	
小計	4.0	0.37					
1.2 自然エネルギーの利用							
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	3.0	0.50	LR1	エネルギー	2	自然エネルギー利用	
	3.0	0.50	LR1	エネルギー	2	自然エネルギー利用	
					2.1	自然エネルギーの直接利用	
					2.2	自然エネルギーの変換利用	
小計	3.0	0.09					
1.3 設備システムの高効率化							
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	5.0	1.00	LR1	エネルギー	3	設備システムの高効率化	
燃焼系潜熱回収瞬間式給湯器の採用							
小計	5.0	0.18					
1.4 設備システムの効率的運用							
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	3.0	0.03	LR1	エネルギー	4	効率的運用	
	3.0	0.03	LR1	エネルギー	4	効率的運用	
					4.1	モニタリング	
					4.2	運用管理体制	
小計	0.0	0.00					
1.5 資源・マテリアル対策							
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	4.0	0.08	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護	
節水型便器や節湯水栓の採用。造材に集成材を使用。	3.0	0.12	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護	
	3.0	0.03	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護	
	2.0	0.06	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	
	3.0	0.19	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	
	3.0	0.16	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	
	3.0	0.16	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	
	2.0	0.04	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	
	3.0	0.19	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	
小計	3.0	0.26					
1.6 ライフサイクルCO2排出率							
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	5.0	1.00	LR3	敷地外環境	1	地球温暖化への配慮	
ライフサイクルCO2排出率が一般的な建物に対して75%以下							
小計	5.0	0.11					
1. 「地球温暖化対策」の推進の評価							
	3.9	0.72					
■ 2. 「ヒートアイランド対策」の推進							
2.1 温熱環境の向上							
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	1.0	0.49	Q3	室外環境(敷地内)	1	生物環境の保全と創出	
	2.0	0.24	Q3	室外環境(敷地内)	3	地域性・アメニティへの配慮	
	2.0	0.27	LR3	敷地外環境	2	地域環境への配慮	
					3.2	敷地内温熱環境の向上	
					2.2	温熱環境悪化の改善	
小計	1.5	0.96					
2.2 交通負荷抑制							
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	4.0	1.00	LR3	敷地外環境	2	地域環境への配慮	
入居者が利用できる電動自転車1台設置。					2.3	地域インフラへの負荷抑制	
小計	4.0	0.04				3	交通負荷抑制
2. 「ヒートアイランド対策」の推進の評価							
	1.6	0.15					
■ 3. 「長寿命化対策」の推進							
3.1 耐用性の向上							
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	3.0	0.47	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	
コンクリートの水セメント比を50%に抑え、品確法の劣化対策等級3の性能を確保。	3.0	0.12	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	
	5.0	0.09	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	
	5.0	0.09	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	
	2.0	0.04	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	
	3.0	0.03	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	
	5.0	0.06	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	
	3.0	0.09	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	
	小計	3.5	0.47				
3.2 設備の更新性							
(コメント) ※設計の計画段階に配慮した事項を記載してください。	3.0	0.17	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	
節水型機器の使用。中央式空調設備は設置してありません。	3.0	0.17	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	
	3.0	0.11	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	
	3.0	0.11	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	
	3.0	0.22	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	
	3.0	0.22	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	
	小計	3.0	0.53				
3. 「長寿命化対策」の推進の平均点(上記2項目)							
	3.2	0.13					
■ 重点項目の総平均(上記3項目)							
	3.5						